

▼破片	硬質プラスチック破片	564				
	プラスチックシートや袋の破片	326				
	発泡スチロール破片	75				
	ガラスや陶器の破片	100				
▼陸上 たばこ	タバコの吸殻・フィルター	48	生活	ふた(プラスチック)	146	
	タバコのパッケージ・包装	3		その他プラスチックボトル	14	
	使い捨てライター	29		生活雑貨(歯ブラシ, 文具等)	96	
	飲料	飲料用プラボトル(ペットボトル)	44		おもちゃ(ボール, フィギア等)	16
		飲料ガラスびん	24		風船	2
		飲料缶	30		花火	0
		ボトルキャップ(プラスチック)	186	大型	家電製品	1
		ボトルキャップ(金属)	3		タイヤ	1
	食品	6パックホルダー	0	物流	荷造り用ストラップバンド	37
		フォーク・ナイフ・スプーン	4	建築	プラスチック・発泡スチロール梱包材	40
		カップ・皿(紙)	5	医療	建築資材(柱, 釘, トタン板等)	7
		カップ・皿(プラスチック)	7	▼海	注射器	0
		カップ・皿(発泡スチロール)	2	釣り	釣り糸	2
		ストロー・マドラー	100	水産	ルアー(エギ, ワーム)	8
		食品の包装・袋	114		ロープ・ひも	145
		食品容器(プラスチック)	56		漁網	18
		食品容器(発泡スチロール)	4		発泡スチロール製フロート	10
		生活	レジ袋	5		プラスチック製フロート・ブイ
		紙袋	0		かご漁具	2
		その他プラスチック袋	22		カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)	0
				カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)	5	

A. 上記以外で数量が多いもの(→①品目、②個数)

B. ごみによる動物への被害 \* 原因不明は対象外(→①動物名、②動物の生死、③原因のごみ、④状態)

C. 海外で使用されたもの(→①国名、②品目、②個数)

C. 中国、トイレペーパー、1袋  
C. 国不明、ガラス瓶、1ヶ

参加者感想

- ・食品の包装袋と思われる破片がとて多かった。打ち寄せられた小枝、海藻のかたまりの中をほぐしていくと、人工ごみがからまって混入していると思った。見た目より、拾って数えてみるとごみが多いと実感した。
- ・タバコのフィルターは少なくなっている気がします。時代を感じる。たくさん人が集まって気持ちがよかったです。
- ・生活系ごみ、人の生活由来のごみの多さに驚きました。まずは、自分自身のごみを出さない生活をするを心がけ、ゴミ削減につなげていきたいです。
- ・マイクロプラスチックが砂で同化していて驚きました。
- ・硬質プラスチック破片の多いことにびっくりです。私たちの出すゴミも考えさせられます。本日は沢山の仲間で処理できてよかった。
- ・ペットボトルキャップが多めでした。ゴミ拾いより集計の方がたいへんでした(小5女子)

キャプテン: 竹内聖一

ICCの実施は、2006年から毎年実施している。昨年に続きコロナ禍で、会場となる沖ノ島周辺は、やはり今年も8/2からの千葉県緊急事態宣言とその延長により9/30まで閉鎖となった。そして今回は、解除後の大きなイベントとなり、内外から47名の参加を頂き、感染症対策の上実施することができた。

参加者からの感想にもあるように、プラスチックごみは、相変わらず多く、特に小さな流木などと一緒に、小さなプラごみが目についた。また、閉鎖していたにも拘わらずごみが多くあるのは、流れ着いているごみということがいえる。

10/2の台風接近に伴い、エリア外ではあるが波浪と風で運ばれてきたと思われるペットボトルが、護岸に目立ったので、集計外で清掃を行った。

ゴミ調査による。ICCへのデータ提供は、海の環境を未来につなげる為に「自分事としてできる」活動として、参加いただいた方にも心に残る活動と考えてる。

